

乃悠訓年書

一 勢公津藩よりけ殺すに渡り大政草為農と
 一 伴より藩内士卒津藩頗る勤惰當月三日
 最大軍事を暗殺さんと陰謀を企士卒既
 大系より一店完へ控系を夕如大系より子く
 もよりと濟め急掃を逃るなり一就き津若
 一より去るも初隔て乾方の山中如く二三千人
 斗り士卒屯集いなり一右大系事の首びを
 するんと初一我我舎妻より一りり
 。

一 飛障玉津久延山子統率兵隊屯集五五
 一より一一流為農より起り人数数千人の
 越き用念より初決のり

若く是れ月抄の中より一りる女匠をとり
 以上

十二月十日

字三馬
 一万余部

上

